



Show Rotary Cares
ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区
ガバナー——久保田 昭 治
会 長——五十嵐 総 一
会長エレクト——細 井 増 雄
副 会 長——長谷川 有 美
幹 事——佐 野 勝 栄
副 幹 事——西 山 徳 厚
S A A——山 浦 日出夫
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	80名中 65名
先々週出席率	94.74%

会長挨拶

五十嵐総一会長

ゲ ス ト

ガバナー 久保田昭治殿

先週のメイクアップ

9/16 三条北へ

石橋育於さん、樺山 仁さん



みなさんこんにちは。今日は久保田ガ

バナーをお迎えしての公式訪問という例会をさせていただきます。

足がガクガクしているのは私だけでしょうか。それほど緊張しています。皆様が羨ましく思います。

ここでみなさんにご不幸のご連絡をさせていただきます。14日にチャーターメンバーであります平原二三郎さんがお亡くなりになりました。誠に残念でなりません。今でもロータリーに私はいるんだということを常々おっしゃっておられました。本当にロータリーのチャーターメンバーらしく我々にご指導していただきました。みなさんと共に黙禱を捧げたいと思います。

黙禱。どうもありがとうございました。

今日は時間を変更させていただいて、昼食もなしで2時から例会とさせていただきました。ちょうど台風もさったことと思います。私のほうはこれから台風がきますが、次に20号の台風も控えています。無事公式訪問が終って何点の採点が戴けるかなと思っています。

今日は皆様方から多数のご出席を頂きまして楽しいクラブアッセンブリーになると思います。

各委員会の事業が今年は「ロータリーに心を」というテーマをいただいております。その活動を示すのが心でございませぬ。どういふ活動が各委員会で発表になるかご期待をしております。

先般ご報告をしましたが、ガバナー通信の9月号に、久保田ガバナーから飢餓

貧困に「寺子屋運動」ということで、第1回目は9月末の締切り、第2回目は10月末の締切りと載っておりました。テレホンカード500円を2枚、みなさんの手近な所にあると思いますので、ご協力をお願い致します。

今日は簡単ではございますが、挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎いからしの里より

いからしの里作品展示即売会のご案内がとどいております。

とき 10月3日(金)～10月5日(日)
AM10:00～PM7:00～
ところ 長崎屋東三条店

ニコニコBOX



第2560地区 久保田昭治ガバナー殿
第2560地区第4分区代理 豊島 豊殿

久保田ガバナー 豊島分区代理を迎えて
五十嵐総一さん、佐野勝栄さん、細井増雄さん、渋谷健一さん、外山雅也さん、菊池 渉さん、高森章仁さん、吉井俊介さん、藤田説量さん、藤田紘一さん、山浦日出夫さん、石橋育於さん、佐藤 武さん、丸山行彦さん、三堀正純さん、峯村征夷さん、松谷晃吉さん、内山辰策さん、榎本 勝さん、中村和彦さん、金子俊郎さん、渡辺宏策さん、高橋一夫さん、上木六治さん、斎藤弘文さん、日戸平太さん、佐藤吉平さん、五十嵐昭一さん、杉野奎司さん、岩井数央さん、池田俊一さん、滝沢富雄さん、山田富義さん、船越正夫さん、長谷川有美さん、佐久間勝敏さん、五十嵐寿一さん、清水良一さん、小林英雄さん、林 光輝さん

広岡豊作さん

久保田ガバナーを歓迎申し上げます。私共の委員会が首尾よくいきますように。

荻野保和さん

久保田ガバナーを歓迎して。平原二三郎会員のご冥福をお祈りして。

小出子恵出さん

久保田ガバナーをお迎えして。弥彦線高架化で三条市のより発展を願って。

樺山 仁さん

平原様のご逝去の知らせを受け、謹んでお悔やみ申し上げます。

岡田正之さん

久方ぶりに家内と彦根城・湖東三山の

旅を楽しんで来ました。久保田ガバナーをお迎えして。

川瀬国雄さん

9/13(土)大河津で黒鯛30cm 1匹、他10匹釣りました。

9月17日分 ¥66,000
今年度累計 ¥266,000



ガバナー講話

第2560地区ガバナー

久保田 昭 治 殿



みなさんこんにちは。ただ今ご紹介いただきました群馬県伊勢崎に所属しております久保田と申します。

今日はR I 2560地区のガバナーとして三条ロータリークラブさんを公式訪問させていただきました。どうぞよろしくお願ひします。

話を始める前に平原大先輩の死に心からご冥福を申し上げます。

私はまだロータリーに入って30年ですが、当クラブのようにもう既に40周年を終えられたというクラブでございまして、たくさんの顔見知りの方々がいらっしゃいます。

また私に色々と忠告をしていただいた方もいらっしゃいます。特に私は藤田説量パストガバナーの時に分区代理をさせていただきまして、格別のご指導をいただいたものです。

今年4月29日は申し遅れましたけれども、本当に40周年記念おめでとうございまして。また、お招きに預かりありがとうございました。

ひとくちに40年といっても本当に長いと思います。その間に三条クラブさんは2560地区のリーダー的存在として先程申しました藤田パストガバナーをはじめ、たくさんの地区役員の方を輩出されました。

そして地区の発展にご尽力いただきましたこと、また近くはたくさんの子クラブをお創り戴いたことに心から敬意を表する次第でございまして。

私は壇上に立ちまして皆様にお話する機会をいただきまして、本当に心から敬服すると同時に、喜んでいる次第です。これからもリーダー的存在としてクラブの発展だけでなく2560地区のためにいろいろご尽力くださることをまずもってお願い申し上げます。

ここで二つ程皆様にお話したいと思

います。

まず第1点は地区分割についてでございます。ご承知の様に昨年の7月に重田パストガバナーが会長幹事会に於いて分割の話がされました。

そして今年の7月に重田パストガバナーが今度は分割についてのメリット、デメリットを資料にしてお渡しして、再度お話ししました。

しかし、この1年間、重田パストガバナーを中心に一方通行の形で皆さんにお話をしてきただけでございます。まだ一度も皆さんのご意見を聞いておりません。

そこで6月29日に吉田昭平直前ガバナーの最終諮問委員会、7月27日の私の年度最初の諮問委員会におきまして、この問題について討議しました。結果は、結論対策等の話をする前に皆さんのご意見を聞くべきだということです。

今までは地区分割検討委員会という名前が付いておりましたが、今度は地区分割委員会という名称になると思います。吉田直前ガバナーが委員長に就任されて人選を行ない、そして皆さんの所にアンケートがいくと思います。その際には会長幹事さんを中心に諸先輩の皆さん方、いろいろご討議いただきましてクラブとしてのご意見を出していただきたい。

ただし、お断わり致しますけど、賛成が多数だからすぐ分割するとか、あるいは反対が多数だから分割しないとか、そういう結論を出す意志は最初から持っていません。あくまでも皆さんのご意見が一体全体どうなのかという意見を聞かせ

ていただきたい。

イエスなのかノーなのか諸条件、あるいはお考えがあるのならば忌憚のないお考えをお聞かせいただきたい。

現在95クラブあります。しかし60クラブが賛成だ、35クラブが反対だと多数決で60対35だから分割しましょうと、そういうことは一切しません。

今申し上げたことを踏まえてご討議されて結論を、当クラブの意見を聞かせていただきたい。

私は立場上、その委員会から外させていただいております。あくまでも私は白紙の状態で皆さんの分割についてのご意見を聞かせていただくということをお願いするのが私の役目です。皆さんにご理解いただいて、ご協力をお願い致します。

第2点につきましては、先程会長さんから話がありました。ここにも掲げられてありますが、今年のR I会長のグレン・W・キンロスさんは「ロータリーの心を」提唱しております。皆さんの独創的や実践的な判断におまかせして実証をしてみたい、そのような考え方からお話をしたいと思っております。

今年のテーマは「ロータリーの心を、あなたの住むところ、私たちの世界、そこに住むすべての人々に、四大奉仕部門を通じて実践しロータリーの心を示そう」これがR I会長キンロス氏のテーマでございます。

ロータリーは1905年ポール・ハリスによって創られました。そしてわずか90年余の間にあつという間に155カ国133地域、

28,000余のクラブ、ロータリアンの人数およそ120万、本当にすばらしい組織になりました。

しかし、これは単にロータリーの機構とか組織などがよくて大きくなったわけではないと思います。ポール・ハリスがロータリーをつくったその心というものに皆さん方が共鳴をして、こだまのように世界中に響きわたった結果このような立派な組織になり、発展したと言えると思います。

キンロスさんは組織は大きくなったけれども、果たしてロータリーが創られたときのロータリーの心を本当に実践しているだろうか。そういうことに非常に危惧の念を抱きました。ややもすると格好だとか、形式だとか、と言うふうにとらわれているところがあり過ぎはしないだろうか。もっと素朴なロータリーの心というものを忘れてはいないだろうか。こんなふうに心配をされて今年のテーマを選んだわけでありまして。

話が逸れますがイギリスのダイアナ妃が亡くなられたと同時に、マザーテレサが亡くなられた、その時の新聞の切り抜きです。それを読ませさせていただきます。

キリストのブルドーザとマザーテレサは言われていた。小柄で柔和な人だったが神の愛を行なうためにはどんな障害をも、ものとはしなかったから「プア イズ ビューティフル」とよく口にされた。彼女の言う貧しさはお金がないことではなかった。

彼女がメルボルンで孤独な老人を訪ね

たときのこと、点いていないランプに気がつき、「なぜ点けないの」と聞くと、「誰のために点けるの？誰も会いにきやしないよ」と答えた。

翌日マザーテレサはシスターを老人宅にやって、掃除や話相手をさせ、そしてランプも点けてやった。やがて老人から言伝があった。「あなたが点けてくれたランプはいつまでも燃え続けていますよ。」

私はこの記事を読み終えてロータリーの心というものは、みなさんもよくご存じの様にそんなに難しい言葉で表現する必要はないと思います。

私は単純に思いやりの心、人のためにお役に立ちたいという人間の善意の心、これがロータリーの心ではないかと解釈をしております。

マザーテレサが暗い部屋で老人が一人で呆然と佇んでいた姿を見て自分は行けなかったけれども翌日直ぐにシスターをやって、その暗い部屋にランプを点けてやった。この些細なことが老人の心をすばらしく和ませてくれた。新聞はこの様に言っています。これがロータリーにとって大変必要なことではないだろうか。ロータリーの心の実践とはそう言うものであって欲しい。と私は思いまして、諸先輩の前でこの記事を読まさせていただいた訳です。キンロスさんは、もう一度原点に戻って、ロータリーの心の実践をやって欲しい。

綱領を道標として草の根レベルでロータリーの心を実践し、お示してください。この様に訴えております。このことをご理解いただきまして、小さな身近な出来

る所からロータリーの心を実践していただきたい。

キンロスさんは三つの強調事項をあげております。

第1番は、地球上から飢餓と貧困をなくしましょうと言うテーマです。私達日本人の生活は、マザーテレサも言っております「日本は非常に裕福だ。だから日本に行くのはいやだ」とおっしゃいましたが、再三の要請で3度見えております。

とにかく地球上には1,800万人と言われている人々が飢餓と貧困のために亡くなっている。また、10億人近い人が一日1\$以下の生活を余儀なくされている。もちろん、ロータリーは今までも財団を通して色々と援助をしてきました。しかし、今までの援助というふうなものは、物を与えるというような援助の仕方が多かったと思います。キンロスさんはそれだけでは駄目だ。もっとロータリーとして飢餓と貧困の原因を作っている、その原因を阻止するようなことを考えてやっていただけないだろうか。

地球上では10億人近い人達が識字率、すなわち読み書きソロバンができないために就職ができないでいます。従って、彼ら彼女らの、いつまで経っても飢餓と貧困から抜け出せない。読み書きソロバンを教えることによって職に就いて働いてもらって自分の努力で自分の生活環境を良くしてもらおうと言うふうにしていただけないだろうか。それには、読み書きソロバンができる先生と施設を確保すべきである。このことから私はあえて「寺子屋運動」ということを申し上げてい

ます。このような話が、3月8日にありました。

現在ガバナーは34人おります。34人のガバナーが集まりまして具体的にどうしようと、非常に大きな問題だと会議をしました。そのときに埼玉県南部地区(2770地区)のガバナーが立ち上がって「実は当地区では既に3年前から日本ユネスコ協会が提唱する寺子屋運動というものをご協賛してやっているよ」と。

市の教育委員会にお願いして学校はもちろんのこと自治会までも巻き込んでやった。なんと書き損じはがきと未使用のテレホンカードだけ。基本的にお金は遠慮はしないけれども、むしろそのようなものでお願いした。

結果は年に2,000万円以上集まった。3年間継続して5,500万円集まった。今年もやります。どうですか他のガバナーの皆さん、うちの地区と同じ様にやることによって、少しでも地球上から飢餓と貧困をなくすキンロスさんの趣旨に添うようにやってみたらどうでしょうか。という提案がありました。

ガバナー会として各地区でお願いしております。そのことで「寺子屋運動」というものにご協賛、ご協力いただきたいと思っております。そして地球上から飢餓と貧困をなくしましょう。

この識字率の向上と計算能力ということですが、かなりロングランで、ロータリーが取り上げてやる方向になっていくと思っております。息の長いご協力をお願い致します。

2番目には会員増強と退会防止です。

単純なことわざですが、「ザルで水を掬っても、いつまで経っても水は溜まらない。」

公式訪問は42クラブ目ですが、廻ってみて感じることは、大部分のクラブが入る人もいらっしゃる。しかし出る人もかなり多い。半数以上のクラブが入会者より退会者が多い。こういう実態でございます。私も大変危惧しております。

キンロスさんは、ロータリーの財産は120万人のロータリアンひとり一人だ。ロータリアンが一人減れば世界平和と国際理解にそれだけマイナスだ。一人増えればそれだけプラスアルファ寄与することができる。ひとりや二人と単純に考えないでロータリーの財産はひとり一人のロータリアンなんだということをご自覚されて、退会防止と会員増強にご協力をお願いしたいと申しております。

皆さん方はそれぞれ、ロータリーの良さを充分ご承知の上で、40年の歴史を創られ、活躍されていると思います。その良さを是非まだ入っていない友人や知人に分かち合ってくださいようお願いしたい。どうかご理解いただきまして、会員増強と退会防止につきまして、格別のご配慮をお願い致します。

3番目には、四大奉仕部門を通じて、ロータリーの心を実践してください。ここに4本の腕があります。これは四大奉仕部門を意味します。テーマによっては個別でも良いでしょう。しかし、4本の手が、四大奉仕部門がしっかり手を握りあってクラブの活動を支えたり、あるいは活動をしていただきたい。私は考えるだけではだめだと思います。やはり、心・

手・足を活用されてロータリーの心をいかに実践して行くか。と言うことが大切ではないでしょうか。

冒頭で申し上げたマザーテレサのランプに火を点けてやる。その様な小さな事を積み上げて行く、それであって私はロータリーの心というもの大きく発展していくのではないかと思います。皆さんの心というものが初めて表面に出てくるのではないだろうかと思ひます。何をやって下さいとは申しません。個人として、クラブとしてどうあるべきか、これは皆さんの個人個人の独創性と実勢にお任せいたします。やはりこうしてお示しいたかない事には、ロータリーの心というものは表現されません。くどいようですが、実践していただきたい。以上がキンロスさんの言われる強調事項の三つでございます。

私は、「ロータリーの心を」というテーマをいただいた時に、これは素晴らしいテーマだと思ひました。5年経ち、10年経ってもロータリーの心の根底の上にあるいろいろなテーマが実行され、築き上げられていくであろうと思ひます。私は大変幸せです。なぜならば、キンロスさんにロータリーの心をもう一度原点に戻って



考えて実行することを教えて戴いたからです。皆さんもよくご理解して今後お忘れにならないよう、実践していただきたいと思ひます。

建物も永くなれば水道管にも多少ホアカが溜まってきます。掃除をすることも必要だと思ひます。時代と共にロータリーもだんだんと変わっております。そういう面におきまして温故知新というものをご理解いただきまして、すばらしいクラブに発展されるよう心からご祈念申し上げます次第でございます。

ポール・ハリスも言っております。やはり、若さを失ってはだめだ。すでに1930年のシカゴ大会に於いてこの事を警告しております。

皆さんのクラブに若さがないと言っているわけではありません。良くご理解いただき、古いホアカは取っていただいて新しい姿で、そして新しい気持ちで益々、当クラブの発展と2560地区の発展のためにご尽力いただければ幸いと存じます。

三条ロータリークラブの益々の発展と皆さん方のご健勝をご祈念申し上げます。私の話とさせていただきます。どうもご清聴ありがとうございました。



ガバナー公式訪問懇親会

於 二洲楼



編集後記

県内には被害が無くて幸いでした台風19号の到来から一気に秋らしくなりました。コスモスが涼しそうに揺れています。秋は仕事も忙しいし？芝生も待っているし、連休は毎週あるしでまた言い訳をしてしまいました。誠にごめんなさい、一週間遅れのガバナー公式訪問の報告になりました。ガバナーより週報の出来栄えを誉めて戴いたばかりなのに。 N

例会案内

三条RC	10月1日例会	会員卓話
	10月8日例会	ライラ報告

メイクアップをどうぞ

三条南RC	9月29日例会	ガバナー公式訪問
	10月6日例会	会員卓話

三条北RC	9月30日例会	クラブフォーラム
	10月7日例会	会員卓話

加茂RC	10月2日例会	会員卓話
	10月9日例会	会員卓話

燕RC	10月2日例会	会員卓話
	10月9日例会	会員卓話

見附RC	10月2日例会	会員卓話
	10月9日例会	会員卓話
